

1. <施策の概要>

基本理念	活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり	統括課	事業部 都市整備課
基本方針	道路・公共交通		
施策名	公共交通	関連課	
方針・目標等	◆路線バスなど公共交通の拡充 ◆公共交通の利便性向上 ◆都市拠点や京都・大阪・奈良への移動が容易		
実施内容	◆道路網・鉄道網の整備や充実に係る国・府や事業者への要望 ◆地域コミュニティバスの実証運行		

2. <指標の設定>

重点		指標名	単位	他団体比較 団体名／実績／年度		算式・引用等	
①	○	精華くるりんバス年間乗降客数	名			都市整備課調べ	
②	○	公共交通に対する満足度 ※総合計画策定に向けた住民意識調査項目	%			企画調整課調べ	
③		精華くるりんバス乗車密度	名/便			都市整備課調べ	
④		精華くるりんバス住居カバー率	%			都市整備課調べ	
⑤							
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標	-	-	-	-	75,600	75,950
	実績	76,637	74,503	72,110	75,223		
②	目標	-	-	-	-	46.7	47.5
	実績	-	-	45.9	-		
③	目標	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	実績	4.39	4.15	4.09	4.33		
④	目標	100	100	100	100	100	100
	実績	97.7	97.8	97.8	98.1		
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・精華くるりんバスの利用者は平成21年度から減員傾向にあったが、平成24年度に広報などによる周知や感謝祭などの実施による利用促進などを行ってきた結果、平成23年度に比べ1日平均10名の増員となった。

・平成23年度調査の公共交通に対する満足度は45.9%と低い数字であるものの、精華くるりんバスの利用者は増員傾向にある。

・バス住居カバー率が高い数値で推移しているものの、公共交通が運行していない地域への対応を検討する必要がある。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・限られた予算の中で実証運行している状況の中でも、精華くるりんバスへの利用者からの要望は絶えず、公共交通のあり方を幅広く検討する必要がある。

4-1. ＜施策を構成する事業＞

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 ＜単位：千円＞					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	都市整備課	30,381	33,443	35,059	32,604	34,244	34,244
	コミュニティバス実証運行事業	28,378	27,645	27,340	27,154	28,794	34,859
	一般事業 191	15,956	16,786	17,842	21,235	28,794	34,859
2	都市整備課	2,197	1,999	2,093	2,108	2,110	2,164
	交通網整備に係る一般経費	194	190	219	209	211	265
	一般事業 191	194	190	219	209	211	265
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. ＜施策を構成する事業の成果と課題＞

・広報などによる周知や感謝祭などの実施による精華くるりんバスの利用促進、また利用者のニーズに沿うようにルートの見直しなどを行ってきた結果、利用者が増員となった。

・精華町地域公共交通会議の専門部会において、今後の公共交通の全体計画の基礎となる精華くるりんバスの運行定義・目的などについて整理を行うことができた。

5. ＜施策の今後の方向性＞

・精華くるりんバスの運行定義・目的などを踏まえ、これまでの実証運行を検証しながら、精華町内のバス運行計画を立案する。

・広報などによる周知や感謝祭の実施などによるPRを継続し、精華くるりんバスのさらなる利用促進を図る。